

CS+用RXファミリデバイス依存情報 ご使用上のお願い

CS+用RXファミリデバイス依存情報 の使用上の注意事項を連絡します。

- RX64Mグループを使用する場合の注意事項

お知らせ: 統合開発環境「CubeSuite+」は製品名を「CS+」に変更しました。

1. 該当製品

CubeSuite+ DevInfo_RX V1.01.00, V1.02.00および
CS+ Device Information for RX V1.04.00

バージョンの確認方法は以下のURLで参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_ver

2. 内容

該当製品を使用して作成されたスタートアップルーチンでは、RX64MグループマイコンのTrusted Memory (以降TMと略す) 機能用のオプション設定メモリが設定されません。

補足 : CS+ V3.00.00からTrusted Memory機能のデバッグをサポートしています。

3.回避策

RX64Mグループを使用する場合は、Trusted Memory機能を使用するしないにかかわらず、TMイネーブルフラグレジスタ (TMEF) およびTM識別データレジスタ (TMINF) の設定を、生成されたスタートアップルーチンに追記してください。

修正するファイル : vecttbl.c

追記する内容 :

(1) Trusted Memory機能を使用しない場合

```
#pragma address __TMEFreg=0x00120048 // TMEF register
const unsigned long __TMEFreg = 0xffffffff;
```

```
#pragma address __TMINFreg=0x00120060 // TMINF register
const unsigned long __TMINFreg = 0xffffffff;
```

(2) Trusted Memory機能を使用する場合

RX64Mグループユーザズマニュアルを参照の上、上記の例の値を書き変えて追記してください。

4. 恒久対策

RXファミリデバイス依存情報の次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。